3節 産業の発達と幕府政治の動き 🏠





目標時間 **30**分

1農業の発達と幕府政治の動き	(1)	幕府や藩は、土地の開墾に力を注ぎ、大きな()を開発した。
	(2)	下の図1の農業のときに使用する深く耕すことのできる農具。
	(3)	下の図2の農業のときに使用する脱穀を効率的におこなう農具。
	(4)	農村でつくられている、原料となる麻、あぶらなや染料に使うあいなどの作物。
	(5)	愛媛県にある銅山。
	(6)	栃木県にある銅山。
	(7)	江戸時代に全国に流通した日本独自の銅貨。
	(8)	九十九里浜(千葉県)で大規模な()漁が行われた。
	(9)	紀伊(和歌山県)や土佐(高知県)では捕鯨や(①)漁が、蝦夷地ではにしん漁や(②)漁がさ かんになった。
	(10)	手紙や荷物を運ぶ人。
	(11)	江戸の間には、木綿や油、しょう油を運ぶ(①)や酒を運ぶ(②)が定期的に往復した。
	(12)	東北や北陸地方の年貢米を運送するため(①)廻り航路や(②)廻り航路が開かれた。
2都市の繁栄と元禄文化	(13)	江戸は「将軍の()」といわれる城下町で、18世紀には人口が100万人の大都市だった。
	(14)	全国の商業や金融の中心地大阪は「天下の()」と呼ばれた。
	(15)	諸藩は、大阪に()を置き、米や特産物を販売した。
	(16)	京都は(①)織や(②)焼など優れた工芸品を生産した。
	(17)	江戸・大阪・京都を()と呼ぶ。
	(18)	都市で大商人がつくった同業者組織。幕府の許可を得て営業を独占していた。
	(19)	江戸幕府の第五代将軍。
	(20)	(7)のころ学ばれた、儒学の中でも身分秩序を重視する学問。
	(21)	京都や大阪を中心とする上方で生まれた新しい文化。
	(22)	武士や町人の生活をもとに浮世草子(小説)を書いた人物。
	(23)	人形浄瑠璃を発展させた人物。
	(24)	上方で有名になった歌舞伎役者。
	(25)	江戸で有名になった歌舞伎役者。
	(26)	俳諧(俳句)で自己の内面を表現する新しい作風を生み出した人物。
	(27)	17世紀前半に俵屋宗達の影響を受けた人物。大和絵のはなやかな装飾画を大成させた。
	(28)	菱川師宣は町人の風俗をえがき、()の祖となった。
	(29)	正月の雑煮や七草、節分の豆まき、ひな祭り、こいのぼり、盆踊りなど。